

宮城県感染症発生動向調査情報(第10週)

宮城県【平成25年03月14日】発行
 宮城県保健環境センター
 TEL (022)257-7228

— 2013.3.4 ~ 3.10 ・ 第10週 —

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所							患者数	累計	宮 城 県 (含む仙台市)				
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼			患者数	累計	第7週	第8週	第9週
水痘	8 1.60	18 1.80	12 2.40	5 2.50	2 0.67	8 1.60		28 1.08	81 1.40	811	◎ →	◎ →	◎ →	◎
流行性耳下腺炎	3 0.60	3 0.30	2 0.40			11 2.20		8 0.31	27 0.47	274	→	○ →	○ →	○
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	49 9.80	60 6.00	22 4.40	14 7.00	43 14.33	138 27.60	30 15.00	195 7.50	551 9.50	3,758	◎ →	◎ →	◎ →	◎
手足口病	3 0.60		1 0.20	3 1.50	1 0.33			1 0.04	9 0.16	115	→	→	→	
伝染性紅斑	2 0.40						4 2.00		6 0.10	80	→	→	→	
突発性発しん	1 0.20	2 0.20	1 0.20	1 0.50	2 0.67	3 0.60		16 0.62	26 0.45	301	レ →	○ →	○ →	○
ヘルパンギーナ			2 0.40						2 0.03	13	→	→	→	
インフルエンザ	53 6.63	78 5.20	76 9.50	14 4.67	55 11.00	72 9.00	14 3.50	199 4.74	561 6.03	13,615	◎ →	◎ →	◎ →	◎
咽頭結膜熱	6 1.20							18 0.69	24 0.41	139	→	→	→	
流行性角結膜炎	1 1.00								1 0.08	16	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	19 3.80	47 4.70	17 3.40	4 2.00	1 0.33	47 9.40		40 1.54	175 3.02	968	◎ →	◎ →	◎ →	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎	2 2.00	1 1.00	1 1.00	1 1.00		2 2.00	8 8.00	4 0.80	19 1.58	231	○ →	レ →	○ →	レ
クラミジア肺炎(オウム病は除く)			1 1.00						1 0.08	8	→	→	→	
RSウイルス感染症	3 0.60	1 0.10						9 0.35	13 0.22	152	→	→	→	
拡張疾病	1	2	7	1	3		4	2	◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向 《週報の詳細》宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/					
マイコプラズマ肺炎(小児科)	1	2	7	1	3		4	2						
川崎病	2													
不明発疹症								1						

今週の全数報告疾病

*男児、女児は6歳未満

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核

塩釜管内 女性2名
 大崎管内 女性1名
 登米管内 女性2名
 仙台管内 男性1名、女性1名

3類感染症: 報告なし

4類感染症: 報告なし

5類感染症: アメーバ赤痢

仙台管内 男性2名
 梅毒
 仙台管内 男性1名

今週のインフルエンザによる入院患者報告
 5例 (仙台市を含む基幹定点報告)

今週の感染症のコメント

— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

【インフルエンザ】

登米管内で注意報継続中。

患者数は石巻管内を除いては減少傾向にあるが、全国的にはまだ流行が続いており、県内では、AH3(A香港型)以外のA(H1)pdm型インフルエンザウイルスも検出されていることから、引き続き注意が必要である。

インフルエンザに関する解説や予防法については、厚生労働省の下記「インフルエンザ一問一答」などを参考に

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkakukansenshou01/dl/leaflet20110208_01.pdf

【感染性胃腸炎】

石巻管内で警報継続中。

患者数は横ばい状態であるが、施設におけるノロウイルスが原因の集団発生も報告されているので今しばらく注意が必要である。

【伝染性紅斑】

気仙沼管内で警報継続中。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

石巻管内で警報継続中。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

インフルエンザ患者より

仙南管内 第10週採取分 インフルエンザウイルスA(H3)遺伝子 2件
 気仙沼管内 第9週採取分 インフルエンザウイルスA(H1)pdm遺伝子 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

第8週採取分 (2.18～2.24) 第9週採取分 (2.25～3.3) 第10週採取分 (3.4～3.10)

インフルエンザウイルスA(H3) 3件 1件 0件
 RSウイルス 3件 0件 3件
 アデノウイルス 0件 0件 4件
 単純ヘルペスウイルス 0件 0件 1件
 サイメガロウイルス 0件 1件 1件

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢群別割合)

報告週	0～4歳 (%)	5～9歳 (%)	10～14歳 (%)	15～19歳 (%)	20～29歳 (%)	30～39歳 (%)	40～49歳 (%)	50～59歳 (%)	60～69歳 (%)	70～79歳 (%)	80歳～ (%)	総数 (人)
2013年 第2週	23.3	21.0	8.6	5.4	9.5	9.5	8.9	5.9	4.1	1.9	1.7	828
第3週	21.9	24.0	14.1	6.8	9.5	8.5	6.0	4.4	2.7	1.2	0.9	1,749
第4週	21.3	28.5	16.7	5.6	5.2	7.7	6.9	4.1	2.4	1.1	0.6	2,850
第5週	20.3	29.9	16.4	4.8	5.6	8.0	5.9	3.9	2.8	1.3	1.2	2,603
第6週	19.0	29.5	19.6	4.3	4.5	6.8	6.3	4.3	3.3	1.2	1.1	2,036
第7週	21.9	26.4	15.3	4.2	5.2	7.2	7.2	5.0	3.2	2.2	2.3	1,146
第8週	21.2	27.7	17.6	3.7	5.2	6.8	5.4	4.9	3.6	2.6	1.5	1,008
第9週	23.1	27.3	20.4	3.8	3.2	6.6	6.4	3.8	2.5	1.3	1.6	761
第10週	22.5	29.2	17.3	4.3	5.0	7.5	4.5	3.9	2.9	2.0	1.1	561

インフルエンザ定点

インフルエンザ定点は、内科定点と小児科定点を合わせたもので、県全体で93定点です。宮城県:51定点 仙台市:42定点 合計:93定点

定点把握の対象となる5類感染症(全国 2013年第8週) (国立感染症研究所感染症情報センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第5週以降減少が続いている。都道府県別では愛知県(28.14)、広島県(24.70)、鹿児島県(24.32)、福井県(24.16)、高知県(22.71)が多い。RSウイルス感染症: 報告数は1,198例と増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約74%を占めている。咽頭結膜熱: 報告数は横ばいであった。宮城県(1.03)、佐賀県(0.86)、富山県(0.69)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 報告数は増加した。石川県(6.76)、鳥取県(5.95)、富山県(5.52)が多い。感染性胃腸炎: 報告数は増加した。宮城県(18.17)、熊本県(16.28)、大分県(13.53)が多い。水痘: 報告数は増加した。宮城県(3.69)、沖縄県(3.53)、鹿児島県(2.80)が多い。手足口病: 報告数は増加した。福岡県(1.50)、島根県(1.35)、石川県(0.69)が多い。伝染性紅斑: 報告数は2週連続で増加した。岩手県(0.33)、香川県(0.23)、新潟県(0.20)が多い。百日咳: 報告数は増加した。宮城県(0.09)、新潟県(0.08)、北海道(0.06)が多い。ヘルパンギーナ: 報告数は増加した。長崎県(0.20)、香川県(0.10)、宮城県(0.08)が多い。流行性耳下腺炎: 報告数は2週連続で増加した。山形県(1.03)、福井県(0.91)、岩手県(0.83)が多い。マイコプラズマ肺炎: 報告数は増加した。富山県(2.00)、石川県(2.00)、沖縄県(1.43)が多い。